



金沢学院大学の一般入試



金沢学院短期大学の一般入試



金沢学院東高校の一次試験

食物栄養学科が2倍超の人気
 金沢学院大学、金沢学院短期大学の一般入試A日程は一月三十一日から二月二日まで、金沢学院東高校の一次試験は一月二十九日に

超える受験生が集まり、生徒たちは真剣な表情で問題に向かっています。合格者は、東高校が二日、短期大学が三日に発表され、大学は八日に発表される予定です。

大学、短大、東高校で一般入試

互いの生活や文化について理解を深める金沢学院大学と大連理工大学の学生 = 3号館



大連理工大学から日本語学部生来訪

3年ぶり 施設見学、交流会も
 金沢学院大学と友好協定を結んでいる中国・大連理工大学の教員・学生が二月三日、四日、本学を訪れ、施設見学や学生同士の交流会で、互いの国や地域の生活や文化などについて理解を深めました。

初日の三日は図書館など施設を見学し、四日は文学部の学生とディスカッション形式で交流しました。交通事情の討論では、交通標識の意味などをクイズ形式

で学びました。日本では最近飲酒運転による痛ましい交通事故死亡事故が増え、厳しく取り締まりが行われていることが紹介されました。また、参加者が四チームに分かれ、トナメント戦でしりとりゲームを行いました。日本語を習っていた大連理工大学の学生も懸命に単語を思い出してゲームを楽しみました。

互いの生活や文化理解

3年ぶり 施設見学、交流会も

卒業・修了制作に厳しい目

美術工芸学科・専攻科で審査会



講評を受ける日本画コースの学生

に向けて指導しました。初めに学生が作品の狙いや表現のポイントを説明し、教員から質問を受けました。人物画では、足の向きや背景色との調和などについて助言がありました。

金沢学院大学美術文化学部美術工芸学科と専攻科美術工芸専攻生の卒業・修了制作単位認定審査会は二月三日、6号館で行われ、洋画の村田省蔵教授、日本画の中路融人教授をはじめとする教員が、三十三人の作品について講評し、仕上げ

陶芸コースの卒業作品に見入る教授陣
 6号館



も見られました。金沢学院東高校の第四回運動部冬期合同研修は二月三日、4号館講堂で行われ、大学陸上部コーチで、バルセロナ五輪陸上競歩日本代表の板倉美紀職員が、「夢に再挑戦」と題して講演しました。「写真左」。板倉さんは五輪出場直後に交通事故に遭って競技者としては再起不能といわれながら復活した歩みを振り返り、「日々の積み重ねが目標達成につながる」と話しました。

文化財学科で卒研発表
 金沢学院大学美術文化学部文化財学科の平成十八年度卒論発表会は二月三日、2号館で行われました。学生四十一人が一人十五分の持ち時間で演壇に立ち、縄文時代から近代までの政治や文化、自然環境などそれぞれ選んだテーマについて研究した内容を発表しました。パソコン画面を投影して分かりやすく説明する学生も写真上

発行・広報室

